

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号： 24-54

補助事業名： 平成24年度 産業技術重点分野技術交流補助事業

補助事業者名： 社団法人 研究産業・産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

新成長戦略で位置づけられる重点技術領域において、技術ニーズ・シーズ及びノウハウの情報交流の場として、先導技術交流会を開催し、産業技術の質の向上を図ると共に、共同研究などの促進を図る。

(2) 実施内容

① 先導技術交流会

ア. 先導技術検討委員会

グリーンイノベーション、ライフイノベーションにおける技術課題のうち、企業の研究開発を先導的に牽引すると予測されるテーマを抽出した。これらについて、異業種横断的な視点から、我が国の産業展開への新技術分野提言を目標に、現況の考察と分析を行い、同時に関連する先導的技術について講演会、セミナー等の会合を開催して、産学官にわたる情報共有を推進した。会合の開催に当たっては、会員企業委員や学識経験者より構成される先導技術検討委員会にて、テーマ、講師、演題等を検討し、以下の先導技術交流会を開催した。



1) 日時：平成24年6月20日

場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室

演題：「バイオ電池の現状と将来」

講師：筑波大学数理物質系 准教授 辻村清也氏

ソニー（株）先端マテリアル研究所 中川貴晶氏

東京薬科大学生命科学部 教授 渡邊一哉氏

2) 日時：平成24年9月7日

場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室
演題：「新エネルギー開発の取り組みに対する国内外の最新状況について」
講師：（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部長
橋本道雄氏

3) 日時：平成 24 年 10 月 19 日
場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室
演題：「再生可能エネルギー - 産総研の研究戦略-」
講師：（独）産業技術総合研究所 企画本部 副本部長 大和田野芳郎氏

4) 日時：平成 24 年 11 月 19 日
場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室
演題：「フレキシブルエレクトロニクス現状と将来」
講師：（独）産業技術総合研究所
フレキシブルエレクトロニクス研究センター長 鎌田俊英氏

5) 日時：平成 24 年 12 月 7 日
場所：JST 東京本部サイエンスプラザ
テーマ：首都圏北部 4 大学連合（4U）医工連携シンポジウム（共催）
～産学・地域連携により医工分野の研究・技術成果を社会的価値創造に～
基調講演：「最先端医療機器・医工連携分野のイノベーション～医療機器メーカーの取り組み～」

東芝メディカルシステムズ株式会社 経営企画部参与 藤原茂美氏
講演Ⅰ：「最先端医療機器・医工連携分野のイノベーション～ガン治療に貢献」
筑波大学准教授 熊田博明氏

講演Ⅱ①：「医療福祉機器開発における機械工学的アプローチ
～埼玉大学産学医工連携の事例紹介～」
埼玉大学教授 森田真史氏

講演Ⅱ②：「ハイドロキシアパタイト薄膜の開発と歯科インプラントへの応用」
茨城大学准教授 尾関和秀氏

講演Ⅱ③：「環境と人体の関係分析と治療法への道」
群馬大学教授 土橋邦生氏

講演Ⅱ④：「社会行動の分子遺伝学 ～アユと人のアナロジー～」
宇都宮大学准教授 飯郷雅之氏

パネルディスカッション



- 6) 日時：平成 25 年 1 月 21 日
 場所：機械振興会館（東京）
 テーマ：「次世代バイオ医薬品への挑戦（2）～CHO 細胞に替わる生産系開発の現状とレギュレーションの世界動向～」(シンポジウム)
 挨拶：経済産業省 製造産業局生物化学産業課 課長補佐 下田裕和氏
 挨拶：(独) 産業技術総合研究所ライフサイエンス分野副研究統括 織田雅直氏
 挨拶：日本製薬工業協会バイオ医薬品委員会副委員長 古賀淳一氏
 基調講演：「バイオ医薬品の品質・安全性確保のためのレギュレーションの世界動向」
 国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部 山口照英先生
 イントロダクション：「次世代バイオ医薬品への挑戦（2）～CHO 細胞に替わる生産系開発の現状とレギュレーションの世界動向～」
 (独) 産業技術総合研究所 幹細胞工学研究センター
 上席研究員 平林 淳氏
 講演 1：「植物細胞を用いたバイオ医薬品生産と世界の技術動向」
 大阪大学生物工学国際交流センター 教授 藤山和仁先生
 講演 2：「トランスジェニックカイコを用いたバイオ医薬品生産の実現を目指して」
 (株) 免疫生物研究所 蛋白工学研究室長 富田正浩氏
 講演 3：「糖タンパク質医薬品合成の技術開発動向」
 (独) 産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 主任研究員 千葉靖典氏
 講演 4：「新薬でみるバイオ医薬品の開発傾向と製薬技術課題」
 (独) 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 副研究部門長 本田真也氏



- 7) 日時：平成 25 年 2 月 7 日
 場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室
 演題 1：「蓄電池の技術開発動向および産業動向 - 自動車用途、電力エネルギー用途を中心に -」
 講師：(独) 産業技術総合研究所ユビキタスエネルギー研究部門長

小林哲彦氏

演題 2：「蓄電材料研究開発のトピック紹介- ナトリウムイオン電池・キャパシタの研究開発-」

講師：(独) 産業技術総合研究所ユビキタスエネルギー研究部門
新エネルギー媒体研究グループ 倉谷健太郎氏

イ. 先進医療機器技術研究会

ライフイノベーションを進める医療分野については、我が国先進医療機器の競争力強化が喫緊の課題ですが、産学官の連携においてこれを解決していく事が重要である。これまで、医療現場と機器開発の技術者間の交流の場の設定が不十分であったとの反省から、昨年度設置した「先進医療機器技術交流会委員会」(専門委員会)を、今年度は「先進医療機器技術研究会」として、活動を行なった。

ライフイノベーションにおける技術課題のうち、装置研究開発側と医療現場からの意見を、講演会のかたちで聴取することが重要と判断し、研究会委員の推薦により、テーマ、講師、演題等を決定し、以下の講演会を企画、開催した。



1) 日時：平成 24 年 7 月 31 日

場所：研究産業・産業技術振興協会協会 会議室

演題：「実 3 次元画像表示装置の基本原理と現状」

講師：東京大学医学部附属病院救命救急センター 准教授 中島 勸先生
東京大学大学院工学研究科 准教授 廖 洪恩先生

2) 日時：平成 24 年 12 月 14 日

場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室

演題：「生体磁気の歴史・現状・将来展望」

講師：東京電機大学 名誉教授 小谷 誠先生

3) 日時：平成 25 年 1 月 29 日

場所：研究産業・産業技術振興協会 会議室

演題：「拡張現実感による治療支援システムの動向と課題」

講師：東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 正宗 賢先生

2 予想される事業実施効果

「先導技術交流会」で企画された講演会では、産総研等独立行政法人や大学、

国公立研究機関が開発した多数の有望な技術テーマ及びノウハウの情報をいち早く産業界に提供し、技術シーズの早期実用化を促すため、先導的技術分野で産業界が希望する最新情報を分野毎に紹介した。また、適宜企業の研究開発に携わる方々にもお話しをいただいた。

こういった考えに基づいて、政府が力を入れているグリーンイノベーション分野、ライフイノベーション分野を中心に、基盤技術として、材料・ナノテク技術等を適宜織り込んだために、参加者（参加企業）がうけるメリットは、①他企業・機関、あるいは産業全体に関する先導的技術情報の入手、② 共通課題に対する相互のディスカッション、③人脈の広がり、となる。

今年度は、先導技術交流会の企画に当たり、先導技術検討委員会を設け、ここでの議論を従来に増して活発化した結果、委員の間で関心の高かったエネルギー関連テーマを多く開催した。これまでの広報・普及活動により、考え方、方向性が浸透しつつあると考えるが、今後、企業サイドの研究開発に携わる方々のニーズを十分に把握し、委員会の意見及び（独）産業技術総合研究所、JST等の学識経験者と共に講演テーマをさらに厳選していきたい。

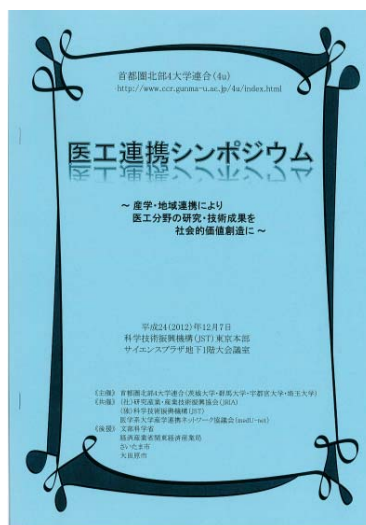
当協会は、一昨年6月の団体の統合により、会員企業及び団体関連研究組織等の範囲が広がり、ニーズの把握が難しくなった。この状況に対処するため、昨年度会員企業及び団体関連研究組織等を訪問し、各階層の経営者、技術者と会見してニーズの把握に努めた結果、これまで連携していなかった業界団体との横断的協力関係が不可欠な事が明らかとなり、既存の連携業界団体（研究産業、分析、研究サービス等）に加え、バイオ、電子情報、機械等のより広範な業界団体と連携して、イベント情報の交換や相互後援関係を樹立できた。特に今年度のシンポジウム開催にあたり、日本製薬工業会に直接協力要請をしたことで、非常に活発なシンポジウム開催が実現できたことは、今後、先導技術交流会事業を進める上で貴重な経験となると考えている。

3 本事業により作成した印刷物

第5回先導技術交流会 配付資料



医工連系シンポジウム 配布資料



先導技術交流会報告書



先導技術検討委員会

「スマートコミュニティ」調査報告書



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人研究産業・産業技術振興協会(ケンキュウサンギョウ・サンギョウギョツシンコウキョウカイ)

住所： 113-0033
東京都文京区本郷 3-23-1 クロセビア本郷 2F

代表者： 会長 伊藤 源嗣(イトウ モトツグ)

担当部署： 企画交流部(キカクコウリュウブ)

担当者名： 小林 一雄(コバヤシ カズオ)

電話番号： 03-3868-0826

FAX : 03-5684-6340

E-mail : jria1@jria.or.jp

URL : <http://www.jria.or.jp>